

一人一人が核兵器や原発をなくす運動の灯火!



【7月25日午前 出雲市斐川町直江】

昨日(25日)は、出雲市斐川町を行進しました。

午前にはまず、斐川生協病院で出発式を行い、金森美智子院長から激励のあいさつを受けました。この後、荘原町内を行進。署名行動に取り組みました。暑い中でしたが、署名してくださった方の温かさに励まされました。

【金森先生のあいさつ】

「核の被害を直接経験した私たちにとって、原発とは共存できません。核兵器や原発をなくす運動を広げていくことが必要で、一人一人は、その灯火です。平和行進を通して灯火を広げてほしいと思います。」



午後には出雲市役所斐川支所を訪問。高田支所長から「軍縮に踏み出せない状況がありますが、平和な社会が一日も早く訪れることを願っています。原発事故による放射能の影響が続く中、大飯原発が再稼働しました。国民の中にも色々な意見がありますが、原発やエネルギーの問題をどうするのか考えないといけません。一人一人の平和を願う思いが、大きな潮流となることを願っています。」と激励のあいさつを受けました。

この後、直江町内を行進。夕方には出雲市内に入りました。

「一日を通して参加させて頂き、様々なことを考えさせられました。原発についても、知らないことが多くありました。とても良い体験ができたと思います。」(U・K)

「平和に対して、より関心をもつことができました。原水爆禁止世界大会にも参加するので、今日の活動を含めて参加していきたいと思います。」(U・M)



斐川生協病院では、毎年、平和行進に合わせて学習会を開いています。

今年は、出雲市民病院労組の有田周二さんを講師に、「被災58年2012年3・1ピキニデーに参加して」と題し、アメリカがピキニ環礁で行った水爆実験による核問題について学びました。

昨日(7月25日)の行進と署名行動

- コース 午前・午後：斐川町 夕方：出雲市内行進
- 参加者 午前：11人(通し行進者1、斐川生協7、松江保健生協労組3)
午後：31人 ※学習会、支所訪問の参加者を含む
(通し行進者1、斐川生協26、松江保健生協労組3、斐川原水協1)
- 署名：50筆 ○カンパ：6,800円
- ☆「核兵器全面禁止のアピール」署名：累計299筆
- ☆沿道募金：累計64,656円